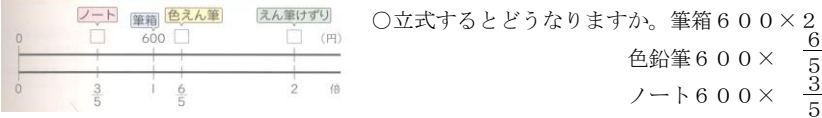


平成30年度 算数科授業の略案 (6学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
7月2日 (月) 5校時	分数のわり算	分数のわり算を考えよう
本時のねらい (8 / 12) ○倍を表す数が分数の時の場合も、基準量×倍＝比較量で比較量が求められることを理解する。		
評価規準 [考] 基準量×分数倍＝比較量の式について、倍の意味や数直線を基に考え、説明している。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・[評価]
【導入】 13:45	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 問題提示 13:48	<p>1 問題を読む。</p> <p>筆箱の値段は600円です。えん筆けずりの値段は、筆箱の2倍、色えん筆の値段は、筆箱の$\frac{6}{5}$倍、ノートの値段は、筆箱の$\frac{3}{5}$倍です。それぞれの物の値段を求めましょう。</p> <p>○それぞれの値段が600円より大きくなるか、小さくなるか予想しよう。 ○数直線を使って考えよう。</p>  <p>○立式するとどうなりますか。筆箱 600×2 色鉛筆 $600 \times \frac{6}{5}$ ノート $600 \times \frac{3}{5}$</p>	<p>わられる数 わる数</p> <p>1あたり量 いくつ分</p> <p>全体の量</p> <p>1より大きい 1より小さい</p> <p>もとにする量</p> <p>割合 (倍)</p> <p>比べられる量</p>
課題把握 ・問いの共有 13:52	<p>2 課題を把握する。</p> <p>倍が分数の時の比べられる量の求め方を式や数直線や言葉を使って説明しよう。</p>	
・シラバス 13:55	(一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(3分))	ハンドサインチェックを行い、見通しが持てるようにする。
・言語わざ 自力解決 集団解決 ・班学習	<p>「数直線を使って説明する」「算数用語を使って説明する」</p> <p>3 式や数直線、言葉を使って答えの求め方を考える。 ○数直線で考えてみましょう。 ○わかっていること (もとにする量、割合)、求めること (比べられる量) は何かはっきりさせよう。</p>	・困っている児童には既習のノートを振り返らせ、基にする量、倍、比べられる量を確認させる。
・全体学習 14:10	<p>4 考えたことを説明する。 ・筆箱の値段600円を1にしたとき、2にあたる値段がえん筆けずりの値段の1200円になる。同じく$\frac{6}{5}$にあたる値段が色えん筆の値段の720円、$\frac{3}{5}$にあたる値段がノートの値段の360円になる。</p>	
・考察 14:23	<p>○数直線で量の関係を表すとわかりやすい。 ○倍が1より大きいとき、比べられる量はもとにする量より大きくなり、1より小さいときは比べられる量はもとにする量より小さくなる。 ○整数や小数と同じように比べられる量はもとにする量×倍で求められる。</p>	[考] 基準量×分数倍＝比較量の式について、倍の意味や数直線を基に考え、説明している。(ノート・発言)
まとめ 14:26	<p>倍が分数の時も比べられる量はもとにする量×割合 (倍) で求めることができる。</p>	
【終末】 適用問題 ふりかえり 14:30	<p>5 適用問題に取り組む。</p> <p>6 学習したことを振り返る。</p>	

